

Video13 では従属接続詞 *als* と副文を復習しながら、従属接続詞 *dass* (英 *that*)、*weil* (英 *because*)、*wenn* (英 *if*) と指示・不定代名詞について学びます。定冠詞は „Ich gehe in den Zoo. **Der** gefällt mir.“ 「動物園へ行こう。それ（その動物園）を気に入っている」のように単独で、つまり**代名詞**として使用できます。このような代名詞は「**指示代名詞**」と呼ばれます。定冠詞と指示代名詞の格変化はほぼ同じですが、複数 3 格では異なり、複数 3 格の指示代名詞は *den* ではなく、*denen* になります。不定冠詞も „Er sucht eine Wohnung. Sie zeigt ihm **eine**.“ 「彼は住居を探している。彼女は彼に 1 つ（の住居を）見せる」のように代名詞として使用できますが、このような代名詞は「**不定代名詞**」と呼ばれます。不定冠詞と不定代名詞の格変化はほぼ同じですが、男性 1 格と中性 1・4 格は異なります。男性 1 格の不定代名詞は **einer**、中性 1・4 格は **eins** になります。なお、「**不定代名詞**」は „Ich sah **einen**. **Der** hatte Brot.“ 「1 人の男性を見かけた。その男性はパンを持っていた」、„Ich sah **eine**. **Die** hatte Brot.“ 「1 人の女性を見かけた。その女性もパンを持っていた」のように「1 人の男性・女性」を指すこともあります。また、否定冠詞も、„Er hat kein Bier, und ich habe auch **keins**.“ 「彼はビールを持っておらず、僕も持っていない」のように「**不定代名詞**」として使用できます。

der Krieg -e

aus

Der Krieg ist aus.

Der Krieg war aus.

der Soldat -en

nach Hause

Der Soldat kam nach Hause.

das Brot -e

schlagen (du schlägst, er schlägt) - schlug - geschlagen

totschlagen

der Richter -

warum

戦争

【副】終わって

(現時点から見て) 戦争が終わりました。

(過去の時点から見て) 戦争が終わりました。

《弱変化》兵士

【成句】自宅へ、自国へ

その兵士が帰って来ました。

パン

打つ、叩く

《分離》殴り殺す

裁判官

【疑】なぜ

Als der Krieg aus war, kam der Soldat nach Hause.

Aber er hatte kein Brot.

Da sah er einen.

Der hatte Brot.

Den schlug er tot.

„Du darfst doch keinen totschiagen“, sagte der Richter.

„Warum nicht?“, fragte der Soldat.

戦争が終わったあとで、兵士が帰って来ました。

しかし彼はパンを持っていませんでした。

その時、彼は一人の男を見かけました。

その男はパンを持っていました。

その男を彼は殴り殺しました。

「人を殴り殺すことは許されない」と裁判官が言いました。

「なぜいけないのですか？」と兵士は尋ねました。

指示代名詞

	男性	中性	女性	複数
1 格	der (der Mann)	das (das Kind)	die (die Frau)	die (die Männer/Kinder/Frauen)
4 格	den (den Mann)	das (das Kind)	die (die Frau)	die (die Männer/Kinder/Frauen)
3 格	dem (dem Mann)	dem (dem Kind)	der (der Frau)	denen (den Männern/Kindern/Frauen)

定冠詞は指示代名詞として使うことができます。指示代名詞の格変化は、複数 3 格は *den* ではなく *denen* になります。例えば „Ich zeige es den Kindern.“ の *den Kindern* を指示代名詞にすると „Ich zeige es *denen*.“ になります。

不定代名詞と所有代名詞

	男性	中性	女性	複数
1 格	<u>einer</u> (ein Mann) <u>keiner</u> (kein Mann) <u>meiner</u> (mein Mann)	<u>eins</u> (ein Kind) <u>keins</u> (kein Kind) <u>meins</u> (mein Kind)	<u>eine</u> (eine Frau) <u>keine</u> (keine Frau) <u>meine</u> (meine Frau)	<u>keine</u> (keine Männer/Kinder/Frauen) <u>meine</u> (meine Männer/Kinder/Frauen)
4 格	<u>einen</u> (einen Mann) <u>keinen</u> (keinen Mann) <u>meinen</u> (meinen Mann)			
3 格	<u>einem</u> (einem Mann) <u>keinem</u> (keinem Mann) <u>meinem</u> (meinem Mann)	<u>einem</u> (einem Kind) <u>keinem</u> (keinem Kind) <u>meinem</u> (meinem Kind)	<u>einer</u> (einer Frau) <u>keiner</u> (keiner Frau) <u>meiner</u> (meiner Frau)	<u>keinen</u> (keinen Männern/Kindern/Frauen) <u>meinen</u> (meinen Männern/Kindern/Frauen)

不定冠詞と否定冠詞は不定代名詞として使うことができます。不定代名詞の格変化は、男性 1 格では ein Mann/kein Mann → einer/keiner のように語尾 -er、中性 1・4 格では ein Kind/kein Kind → eins/keins のように語尾 -s が付きます。また、所有冠詞は所有代名詞として使うことができます。所有代名詞の格変化も、男性 1 格では meiner になり、中性 1・4 格では meins になります。

従属接続詞と副文

従属接続詞は一方の文を他方に従属させる形で結びつけます。従属とは一方の文が他方に条件や理由を付加することです。従属接続詞に導かれた文を副文（英文法：従属節）と言います。副文では動詞の定形は „**Als** der Krieg aus war, ...“ のように文末に来ます。副文が主文の前に置かれると、副文全体が主文の第 1 位を占めることになります。つまり、主文の動詞の**定形**が „**Als** der Krieg aus war, **kam** der Soldat nach Hause.“ のように副文の直後に来ます。

従属接続詞 **dass**（英：that）、**weil**（英：because）、**wenn**（英：if）も覚えましょう。「…した時」を意味する従属接続詞 **als** に導かれた副文は通常主文の前に置かれますが、従属接続詞 **dass, weil, wenn** による副文は、主文の前にも後ろにも置かれる場合もあります。

Ich weiß, **dass** er morgen kommt.

Dass er morgen kommt, weiß ich.

Er geht nach Hause, **weil** das Spiel aus ist.

Weil das Spiel aus ist, geht er nach Hause.

Er geht nach Hause, **wenn** das Spiel aus ist.

Wenn das Spiel aus ist, geht er nach Hause.

私は彼が明日来ることを知っています。

彼が明日来ることは知っていますよ。

彼は家に帰ります。なぜなら試合が終わったからです。

試合が終わったので、彼は家に帰ります。

彼が家に帰るのは、試合が終わってからです。

試合が終わったら、彼は家に帰ります。

助動詞構文や完了形の副文では元々 2 番目にあった**助動詞の定形**が文末に置かれ、分離動詞の場合は副文では分離しません。

完了形： Ich weiß, **dass** er gestern gekommen **ist**. 彼が昨日来たことを知っています。
(Er **ist** gestern gekommen.)

助動詞構文： Ich weiß, **dass** er zu Hause bleiben **soll**. 彼がずっと家にいるように言われたことを知っています。
(Er **soll** zu Hause bleiben.)

分離動詞： Ich weiß, **dass** er sie heute **anruft**. 彼が彼女に今日電話をかけることを知っています。
(Er **ruft** sie heute an.)